

繰り返し音読して本文表現を習得しよう

～ At a Nature Park NEW CROWN (1年) Lesson 4 ～ (習得の時間)

指導内容

- ▼指導内容 ICT 機器を活用して、本文の内容を理解させたくて、チャンクを意識して多読させる。
- ▼つきたい力 英文における意味のかたまりを意識して読むことができる。また、意味の切れる部分で、ややポーズ(休止)をはさみ込みながら読むことができる。

技能と評価

評価する主な技能	<input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと
評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現の能力
	<input type="checkbox"/> 外国語理解の能力
評価する主な方法	<input type="checkbox"/> 言語や文化についての知識・理解
	<input type="checkbox"/> ペーパーテスト評価 … 定期テスト等
	<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス評価 … スピーチ、面談等
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ評価 … レポート、絵日記等

その他

- ◆「習得の時間」について：「活用の時間」を意識したコミュニケーション活動など
 - ・ 事前に習得した表現を用いたスキット等のロールプレイ活動を「活用の時間」実施することを生徒に伝えることで、アウトプットの活動を意識した、ペアワーク等に取り組むことができる。
 - ・ いわゆる意味の固まりごとに文頭から読み進めるチャンクリーディングについて、スモールステップを踏んで取り組ませる。

◆外国語活動との連携について

表現の関連: 英語ノート1 How many? 数で遊ぼう
Hi, friends! 1 How many? いろいろなものをかぞえよう

内容の関連: 数字について



一般動詞：現在形 (NEW CROWN Lesson4 At a Nature park)

1. 単元の目標

1. スキットにおいて間違いを恐れずに話す。
2. 既習の表現を使い、自分の考えや意見を伝える。
3. 相手の質問や依頼などを聞いて、適切に応じる。
4. 疑問詞 how を用いた文の構造を理解する。
5. 命令文を用いた文の構造を理解する。

2. 単元について(教材観・指導観)

本単元では、校外学習を通じて、自然環境の保全に触れる内容である。教科書本文はすべて対話文で構成されているので、この単元では、クラスメイトとスキットを行う。また、その活動を通じて、相手の質問や依頼などを聞いて適切に応じることや、既習の表現を使い自分の考えや意見を伝えることができる力を養う。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
・スキットにおいて、間違ふことを恐れずに話している。	・既習の表現を使い、自分の考えや意見を伝えることができる。	・相手の質問や依頼などを聞いて、適切に応じることができる。	・疑問詞 how を用いた文の構造を理解している。 ・命令文を用いた文の構造を理解している。

4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1	・疑問詞 how、命令文を用いた文の構造を理解する。 ・疑問詞 how、命令文を使えるようにする。	How many rackets do you have? I have two rackets. Don't use my camera.	・教科書を通して、疑問詞 how や、命令文の構造を理解する。 ・疑問詞 how や、命令文が使えるようにパターン練習をする。	【ペーパーテスト】 ・疑問詞 how や、命令文の用法を理解しているか。
2 本時	・疑問詞 how、命令文を活用して、本文の内容を理解する。		・教科書本文の意味を理解する。 ・教科書本文をセンテンスリーディングする。 ・教科書本文の内容について応答練習をする。	【活動の観察】 ・疑問詞 how、命令文を活用して、本文の内容を理解しているか。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 how、命令文を含むスキットの原稿をグループで作成する。 ・スキットの原稿を作成する活動中に、相手の質問や依頼などを聞いて、適切に応じることができる。 	<p>スキット例</p> <p>A: Hi! B. What's up? B: I'm OK.</p> <p>A: Do you like apples? B: Yes, I do.</p> <p>A: How many apples do you eat a day? B: I eat ten apples every day.</p> <p>A: Ten apples? Don't eat too many. B: Don't eat too many.... I like apples very much.</p> <p>There is an old saying, "An apple a day keeps the doctor away."</p> <p>A: But, in your case it is "Ten apples a day call the doctor to your home."</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を参考に、疑問詞 how や、命令文を用いたスキットの原稿づくりをする。 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキットの原稿を作成する時に、相手からの質問や依頼などを聞いて、適切に応じているか。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・スキットで間違ふことを恐れずに話す。 ・既習の表現を使い、自分の考えや意見を伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・スキットで発表 	<p>【活動の観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキットで間違ふことを恐れずに話しているか。 ・自分の考えや意見を、既習事項を活用して伝えているか。

5. 本時(習得の時間)について

(1) 本時の目標

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 本文の内容を理解する。 2. 自然環境の保全に関心をもつ。 |
|---|

(2) 本時の評価規準

- 本文の内容を理解している。
- 自然環境の保全に関心をもっている。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
導入	<p>1. ウォームアップ</p> <p>ミッシングゲームをする。</p> <p>(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出単語をフラッシュカードで音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミッシングゲームをする準備として、フラッシュカードで新出単語を音読させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語が苦手な生徒には教科書を見てもよいなど配慮をする。

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
導入	<p>○ミッシングゲームの説明をする。</p> <p>(1) 新出単語をすべて黒板に掲示する。 at nature Mr group ready student here girl boy see bird how many some look beautiful stop pick take we live with</p> <p>(2) 30秒間、生徒に後ろを向かせる。その間に、教員(JTE)は、黒板に掲示している単語を2つ取り除き、シャッフルして再掲示する。 at nature Mr group ready student here girl boy see bird some look beautiful stop pick take we live with</p> <p>(3)ペアでどちらが早く取り除かれた単語を探することができるか競い合う。</p> <p>・ミッシングゲームをする。</p>	<p>○ミッシングゲームの説明をする。</p>	
展開	<p>2. 教科書本文の意味を考える。(15分)</p> <p>・教科書本文のピクチャーカードを見ながら、内容を聞き取る。</p> <p>・教員(JTE)の質問に回答する。</p> <p>・ピクチャーカードを見ながら教員(JTE)と音読する。</p> <p>3. 教科書本文をセンテンスリディングする。(20分)</p> <p>・【ステップ1】をする。</p> <p>・【ステップ2】をする</p> <p>・【ステップ3】をする。</p>	<p>・ピクチャーカードを紙芝居に見立てて、教科書の内容を読み聞かせをする。</p> <p>・教科書本文の内容を理解しているか、生徒へのQA活動で確認する。</p> <p>・ピクチャーカードを見せながら生徒と音読する。</p> <p>○ICTを活用した音読練習の流れ</p> <p>【ステップ1】</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に教科書本文を、意味のかたまり(チャンク)単位で映し出す。 ・映し出された意味のかたまり(チャンク)を、教員(JTE)に続いて、音読練習する。 <p>【ステップ2】</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメーション機能を活用することで教科書本文を前から順次消していく。生徒は、そのスピードに合わせて、音読する。 ・各ページ単位で行う。 <p>【ステップ3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の主語と動詞のみが掲示される。その主語、動詞を手掛かりに、各文を再現させる。 	<p>・使用場面をはっきりさせるため当該ページの挿絵を添える。</p>

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
展 開	<ul style="list-style-type: none"> 目標を設定し、教科書本文の音読練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 授業では、ステップ1→ステップ2→ステップ3と順番に紹介した後に、生徒自身で自分はどのステップまで本時で到達したいかを決めさせる。 * 目標を決めさせた後に、ペアやグループで練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ステップ3では、生徒の習熟度合に合わせて教科書を見てもよい。
ま と め	<p>4. まとめをする。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の音読 センテンスリーディングを10回 教科書の筆写 センテンスを意識しながら筆写すること。 	

